

平和を求め続ける

副校長 中塩 百合

構内の木々の葉が一斉に芽吹き、子どもたちの新たな出発を喜んでいるようです。友だちや先生との関わりの中で、子どもたちの少しよそ行きの顔が心からの笑顔に変わり、それぞれが個性を発揮しはじめています。様々な人との出会い、学びとの出会いが、子どもたちの学校生活をさらに充実させていくことを期待しています。今年度は様々な教員が「聖心だより」を担当いたします。教員も保護者の皆様との新たな出会いを楽しみにしています。

今年の復活祭は4月20日でした。翌日子どもたちと「ご復活おめでとうございます」の挨拶を交わし、私たちと共にいてくださる主イエス・キリストに心を寄せ、みこころを生きる喜びを分かち合いました。しかしその直後に、思いもかけず教皇フランシスコご帰天の知らせが届き、初等科生皆で教皇様の安らかな永眠をお祈りしました。教皇フランシスコは、特に貧しい人、疎外された人に手を差し伸べ、世界が平和であることを望まれました。そして、平和のために待つだけでなく一人ひとりが行動することを自ら模範となって示され、世界中の国々、地域へと足を運ばれ人々と対話をなさいました。



聖心の教育の中には、平和を考える場がたくさんあります。児童会が主体となって進めているウクライナとの交流もそのひとつですし、ハイチやフィリピン、インドネシア、ウガンダ、コンゴ、ケニアの国々にハイチデーで集まったお金をに送り、現地の子どものための教育や施設の充実に活用できるよう取り組んでいることも真の平和について考える機会になります。世界は広いです。私たちが当たり前と思っていることが当たり前でない現実がありますが、このような活動が知らない世界を身近なものとし、自分の大切な友だちがいる国にしていま

す。卒業生の多くが聖心で学んだこととして、「だれかのために役立つこと」「物惜しみしない心」を挙げます。その教えは、国を超えた世界の一員としての使命となって子どもたちの心に育まれていきます。

教皇フランシスコが望まれた平和は、これから生きる私たちに託されました。全ての人が平和をつくるひとりです。子どもたちにとって、友だちと仲良くすること、譲り合うこと、悲しい思いの人を慰めることが平和に繋がっていきます。そして、まだ見ぬ世界の友だちのことを思い、自分ができることから行動を起こしていくことも大切です。教皇フランシスコの逝去に際し、皆であらためて平和のために一歩を踏み出したいとの思いを強くしました。

「主よ、私をあなたの平和の道具にしてください。」（アシジの聖フランシスコの祈りより）

5月の聖母月は、帰りの会で一日の振り返りを行い、アベマリアの祈りと共にマリア様にお捧げ致します。
 一ヶ月間、祈りを続け花冠にして、5月末の聖母戴冠式に捧げます。



～～カトリックの洗礼、初聖体をお受けになった方は、連絡簿でお知らせください～～

安心して自分らしく過ごせること

生活指導主任 大石 葉月

モッコウバラやツツジは鮮やかに咲き誇り、新緑がまぶしく、いのちの輝きが増す季節となりました。子どもたちは4月からの生活にも少しずつ慣れ、新しい一歩を踏み出しています。

さて、年度の初めには、「生活指導」の側面からルールやマナーを確認する機会があります。一般的に「生活指導」というと、「ルールを守らないと注意されること」と受けとめられがちです。しかし、聖心ではカトリックの教えにつながる、「神様からいただいたギフトを大切にし、自分らしく生きること」が生活指導の根底にあります。第一に、お子様が学校に通われる中で大切なことは「学校で安心して自分らしく過ごせること」ではないでしょうか。ほとんどの学年では、日記が始まっています。日記は担任が子どもたちの様子を知ることにもつながっています。どのようなことを味わい、どのようなことを思ったのか、いろいろと知っていくうちに子どもたちの素朴なその人らしさを私たち教員は受け取ることができます。時には、悩んでいることを書いてきてくれる子どもたちもいます。職員室では日々、教科担当者と担任間で子どもたちの様子を頻繁に共有しています。授業で興味深い視点を見つけていたことや進んでお手伝いをしてくれたことなどの良い点を積極的に伝え合っていますが、気になることも早めに共有するよう心がけています。

人々の関わりの中で、いじめに留意することは教育現場で大切に考えていますが、初等科でもこの4月に2～6年生の成長段階に合わせてガイダンスを行いました。今後も、さまざまな切り口で友達との関わり方について考えていく機会をつくっていきます。カウンセラーからの話も交えて、コンスタントに行うことが大事だと考えています。その他にも、体を動かして遊べる時間や好きな本を自由に読める機会などを今年度は増やしているところです。学校全体で子どもたち一人ひとりが「ここにいていいんだ」「わたしは大切にされている」と感じられる環境をつくっていくよう努めて参ります。

日々の生活の中で「さまざまな人がいることを知り、互いに尊重し合い、協力して生活していくこと」を学んでいく積み重ねは、「多様な社会の中で世界の人々とともに共生していく力」の土台となります。違いがあるからこそ、時にはぶつかることがあるのです。そこから互いに学び合い、助け合う経験を重ねていくことが子どもたちにとって大切な成長の過程になります。私たちは子どもたちの小さな声や思いに耳を傾けてそれらを受けとめながら、一人ひとりの存在に光をあてていきたいと思ひます。ご家庭でも、どうか日々のお子さまのつぶやきに耳を傾け、気持ちを受けとめる時間を大切にいただけたら幸いです。保護者の皆様との連携が大きな支えとなります。今後ともご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

子どもたちにとって自分らしさを発見しながら、仲間とともに新たな世界を創り出していく希望あふれる日々となりますように。



5月の行事予定

1日(木)	1年生を迎える会	14日(水)	泉の会代表幹事会
2日(金)	5・6年生遠足	15日(木)	運動会総練習(1～4限)
3日(土)	憲法記念日	21日(水)	聖マグダレナ・ソフィアお祈り会
4日(日)	みどりの日	23日(金)	運動会準備(午後)
5日(月)	こどもの日	24日(土)	運動会
6日(火)	振替休日	25日(日)	聖マグダレナ・ソフィア祝日 (雨天予備日)
7日(水)	4年保護者会	26日(月)	運動会代休(雨天予備日)
8日(木)	運動会全体練習(1～2限) 火曜時間割	30日(金)	聖母戴冠式朝礼(1～6年)
12日(月)	1年・転入・編入保護者会	31日(土)	保護者後援会幹事会
13日(火)	尿検査2次		